

大会参加レポート  
西日本大会  
2004年10月10日

# 宮内 (女子) M21A で優勝

木村佳司

世界選手権スプリント女子で見事決勝進出を果たした宮内が国内でも快挙。並み居る強豪を抑えて男子の M21A クラスで優勝。全日本大会 ME への切符を手にした。

平成 16 年度西日本大会  
2004 年 10 月 10 日 (日)  
広島県神石町スコラ高原

## 目標は世界レベル

誰もが速報の前で目を見張った。「宮内佐季子」の名前が M21A 速報の一番上に表示されたのである。

宮内は先日スウェーデンで開催された世界選手権のスプリント種目で決勝に進んだ。その宮内が西日本大会にエントリーしたのは男子クラスである M21A だった。宮内は並み居る男子選手を抜き去り首位に立ったのだ。



宮内佐季子  
9月に開催された世界選手権で気迫の走り  
(世界選手権 2004 の web サイトより)

驚くのはレース内容である。ラップ解析の結果、宮内の巡航速度は M21A 上

位平均より 3-4%速い。ミスも多いため、今回は僅差の 1 位となったが、もしミスが無ければ大差で優勝ということになっただろう。

もちろんオリエンテーリングはスピードと正確さは相反する内容である。しかし、2005 年世界選手権の舞台で世界を相手に戦うためには、スピードは絶対必要な条件。今の段階では荒削りだがスピードが必要だ。これから愛知のトレインで正確さに磨きをかけていけばよい。

スポーツで強くなるには、強い選手がひしめく環境に飛び込むのが良いといわれる。こうした環境を目指して宮内は今まで男子コースに何度か挑戦したことがある。

この西日本大会の M21A で優勝したことにより、宮内は全日本大会 M21E の参加資格を持ち、日本の男子のトップ集団に揉まれることになる。これは女子で言うところのちょうど世界選手権レベルの選手と競うことになる。今後の宮内選手の活躍が楽しみだ。

## 山奥の大会

今回の西日本大会は街から離れた屋外リゾート施設で開催された。中国縦貫道と車を使用すれば比較的アクセスは容易だが、電車とバスの利用ではかなり不便な山奥の大会である。

開催が危ぶまれた西日本大会を引き受けてくれた広島県協会。彼らがこのような不便な場所を大会開催地に選んだのは、スコラ高原という優れたトレインがあるためだ。

通行可能度も良く、アップに少ない。地図もよく調査されている。厳しくそして楽しいナビゲーションを味わうことができた。大会としての満足度は高いものだった。



会場となったコスモドームの真正面に作られたフィニッシュレーン

このように、競技性をかなり重視し、アクセスがあまり良くないロケーションだったため、集まった参加者はかなりコアな人たちだったように感じられた。参加人数も JOA 主催大会にしてはかなり少なく、300 名ちょっとだったのではないだろうか。

ひところの JOA 公認大会とはまた異なる、ピュアな競技世界を感じる西日本大会。それは JOA 主催大会の一つの姿なのかもしれない。

(木村佳司)



走り終わった後は会場近くの「帝釈(たいしゃく)の湯へ」。最終コントロールは温泉の入口。先にフィニッシュして温泉から出てきた人からランナーに声援が飛び、男子浴槽の窓からは M21E の地図交換の様子が観戦できた。

## 西日本大会各クラス優勝者

M21E	紺野俊介	横浜 OLC
W21E	皆川美紀子	みちの会
M21A	宮内佐季子	京都府京都市
M21AS	伊藤夏生	ES 関東 C
M35A	松尾繁樹	徳島 OLC
M40A	城森博幸	OLP 兵庫
M45A	田中徹	京葉 OLC
M50A	伊藤哲夫	松阪 OLC
M55A	伊藤誠厚	三重県庁 OLC
M60A	小幡昭次	三河 OLC
M20A	津國真敏	京大 OLC
W21A	原 響子	多摩 OL
W45-50A	芝聖子	OLP 兵庫
W20A	鋤持知美	相模女子大
M20-21B	井上裕介	金沢 OLK
M35-45B	大橋功	兵庫県高砂市
M50-60B	大下洋成	広島県廿日市市
M65	深井淳之	ワンダラーズ
M70	山西一徳	人間市 OLC
M16B	町井瑞希	
M12	村越綾	東海大学付属小
W20-21B	福田早友里	立命館大
W50B	畠本信子	長崎市 OL 協会
W55-65	石田美代子	愛知 OLC
W12	伊東瑠実子	広島 OLC
W16N	牟田由希子	長崎市 OL 協会